

商工まるわかり通信 No.4

1か月で見えた、鹿本商工の“らしさ”
～純朴さは、社会を照らすチカラになる。～



「鹿本商工って、先生にはどう見えるんだろう？」

今年度、新たに鹿本商工に着任されたO先生に、
1か月過ごしてみての“商工の印象”を聞いてみました。

本年度、鹿本商工高校に赴任して約1か月半経とうとしている。実業高校は約30年ぶりということもあって、多少の緊張感をもって赴任したのを覚えている。しかしながら、私が以前いた工業高校のイメージからくる**商工生の印象は全く違うもの**であった。

時代の変化も関係しているのであろうが、商工生は**純朴な生徒が多い**ように感じられる。**廊下での挨拶**はもちろんのこと、**授業中の反応**がそのように感じさせてくれるのであろう。商工生の大半は卒業したら社会に出ていく人たちだ。社会人は学生と違って責任を負っていかなければならない。そういった意味で、高校時代は**社会に出るための準備期間**である。純朴さを大切にしつつも、社会人になるにあたって必要な**自律心**を養ってほしいと思う。